

学校の教育目標

〈児童と教職員が共にめざす姿〉

たのしい学校

やりぬく子ども

現状と課題

【生活面】

- 学校はたのしいと感じている児童90%以上
- 就寝時刻が遅い児童、遅刻のある児童
- 気持ちの伝え方や友だちとの関わり方が苦手な児童【自己有用感を持ち、認め合って楽しく生活するための考え方や行動力の育成】

【学力面】

- 正答率は、ほぼ全国平均を上回っている
- 基礎基本習得不足←家庭学習・学習習慣の未定着【保護者との連携、わかる→できる】
- 算数の活用問題が時間不足、表現力不足【情報・根拠を整理する能力・表現力の育成・活用問題の量や時間意識の改善】

重点目標

I, 自立・共生の力をつける

- ①時間やきまりを守って生活していく態度と習慣
- ②相手を大切にしたい挨拶、返事、お礼、言葉遣い
- ③健康・安全に気をつけ運動を楽しむ習慣

II, 学びに向かう力を伸ばす

- ①望ましい学習習慣・学習規律
- ②基礎基本の習得の徹底
- ③視覚的で見通しの持てる授業
- ④根拠をもとに考えを伝え合い、学びを深める授業

教職員の構え

チームで徹底!

- 学年・分掌で(チームで)かならずやる(徹底)
- 全教職員で課題を共有する
- 具体的なめあてを決める
- 学年・チームで徹底する
- 達成状況を評価し改善する

学び続ける教職員集団

- 校内研究による授業改善
- 校内研修での教科等研修会
- 楽しくわかる授業力を磨きあう
- 生徒指導力を伸ばす(子どものトラブルは学年・チームで対応解決)
- 保護者・地域の方からの信頼を得る

重点目標を支える教師の日々の実践

【児童理解】

- ①児童の声に耳を傾ける
- ②児童と共に動く
- ③努力・成長をほめる
- ④特別支援教育の視点
- ⑤コーチングの視点

【学力の充実】

- ①ユニバーサルデザインの授業
- ②聴き合い学び合う集団づくり
- ③レベルの高い課題に挑戦させる授業

【豊かな心の育成】

- ①朝読書の充実
- ②人権学習、道徳、SSTの工夫
- ③めあてを明確に持たせた体験活動

【地域・保護者との連携】

- ①日常的な連絡・家庭訪問等
- ②通信、HPによる情報発信
- ③GT・SSとの連携

重点目標と学級・教科経営計画、目標管理シート、校内研究との連動

■学級・教科経営計画

重点目標に基づいた経営計画

■目標管理シート

自己目標の具体的設定, 評価

■校内研究

PDCAサイクルで授業改善

学校評価

自己評価(教職員・児童・保護者アンケート等)・学校関係者評価・第三者評価 → 改善・進化